

平成24年行政事業レビューシート

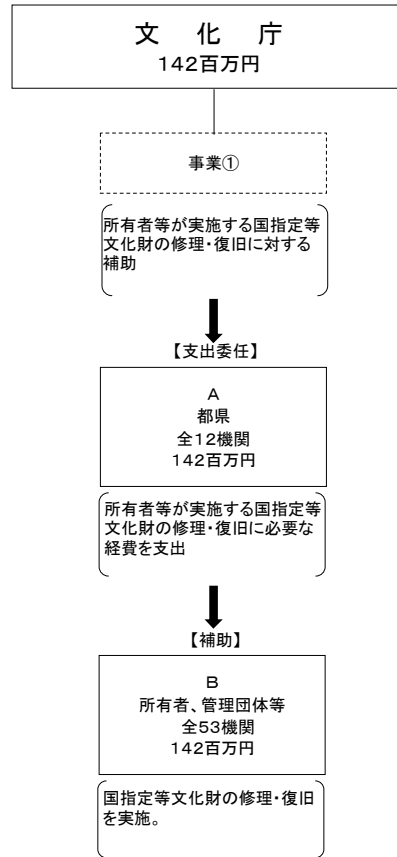
(文部科学省)

事業名		有形文化財等の保存整備等（復興関連事業）		担当部局庁	文化庁		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度		平成23年度		担当課室	文化財部伝統文化課 文化財部美術学芸課 文化財部記念物課 文化財部参事官(建造物担当)		伝統文化課長 湊屋 治夫 美術学芸課長 江崎 典宏 記念物課長 矢野 和彦 参事官(建造物担当) 村田 健一		
会計区分		一般会計		施策名	XⅢ-2 文化財の保存及び活用の充実				
根拠法令 (具体的な条項も記載)		文化財保護法 第35条等		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		東日本大震災により被害を受けた国指定等文化財の修理・復旧を行い、国民共有の財産である文化財を次世代に確実に継承する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)		文化財の所有者、管理団体等が実施する修理・復旧事業に対して補助を行う。							
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)				21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		予算の状況	当初予算				-	-	-
			補正予算			3,186	-		
			繰越し等			▲ 3,035	3,035		
			計			151	3,035		-
		執行額			142				
執行率 (%)			93.7%						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
		被災した文化財を震災前の状態に復旧することで、文化財を着実に後世に継承する。		成果実績					
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
		文化財補助金の補助対象件数		活動実績 (当初見込み)	件	-	-	53	-
単位当たりコスト		2, 679, 245(円/件)		算出根拠	23年度決算額 142百万円 23年度補助事案件数 53件				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由					
				※平成23年度限りの経費					
	計								

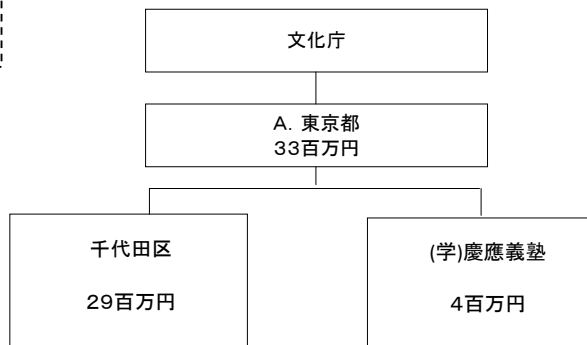
事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・被災文化財の復旧作業については、復興基本方針において復興施策の1つとして掲げられており、国として実施する必要がある。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	・文化財の所有者等が実施する復旧事業の経費について、原則50%を補助する。 ・補助対象経費については、各事業要項で厳格に定めている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	・実績報告書の精査を行うとともに、整備された施設、成果物の活用状況の現地確認、会計処理などの実地検査等を行い、より適正に補助金が執行されるよう努めている。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・本事業は、復興基本方針(平成23年7月29日、東日本大震災復興対策本部)に定める「⑤文化・スポーツの振興(イ)」「地域のたから」である文化財や歴史資料の修理・修復を進める」に沿った事業を実施するものであり、国として行うべきものである。</p> <p>・申請内容、積算等について、各事業要項に照らして精査し、効果的・効率的な執行に努めている。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
		<p>平成23年度限りの経費 なお、本事業については、予算の一部を平成24年度に繰り越しているが、当該予算が東日本大震災からの復旧・復興のための経費であることに鑑み、引き続き早期執行に努めるべきである。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
		<p>文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針)(平成23年2月8日閣議決定) http://www.bunka.go.jp/bunka_gyousei/housin/kihon_housin_3ji.html</p>	
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	復興-0052

※平成23年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単位:
百万円)



事業①
東京都の場合



費目・使途 (「資金の流れ」において ブロックごとに 最大の金額が 支出されている 者について 記載する。費 目と使途の双 方で実情が分 かるように記 載)	A.東京都			C.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	事業費	支出委任	33			
	計		33	計		0
	B.千代田区			D.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	事業費	常盤橋門跡保存整備	29			
計		29	計		0	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京都	支出委任	33	—	—
2	宮城県	支出委任	27	—	—
3	栃木県	支出委任	27	—	—
4	福島県	支出委任	21	—	—
5	静岡県	支出委任	17	—	—
6	茨城県	支出委任	14	—	—
7	岩手県	支出委任	3	—	—
8	青森県ほか4県	支出委任	—	—	—

※青森県ほか4県(山形県、埼玉県、千葉県、山梨県)は全額翌年度繰越。

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	千代田区	常盤橋門跡保存整備	29	—	—
2	仙台市	仙台城跡保存整備	21	—	—
3	東照宮	東照宮表門附彫子塀ほか37棟保存修理	18	—	—
4	富士宮市	富士山保存整備	17	—	—
5	白河市	小峰城跡保存整備	17	—	—
6	オエノンホールディングス(株)	シャトーカミヤ旧醸造場施設事務室ほか2棟保存修理	9	—	—
7	二荒山神社	二荒山神社掖門及び透塀(2棟)ほか3基保存修理	6	—	—
8	桜川市	桜川市真壁伝統的建造物群保存地区保存修理	5	—	—
9	(学)慶應義塾	慶應義塾三田演説館保存修理	4	—	—
10	我妻信雄	我妻家住宅主屋ほか3棟保存修理	3	—	—